

## ○予算決算委員長報告

予算決算委員長 橋 本 国 勝

予算決算委員長報告を申し上げます。

今期定例会で当委員会に付託されました議案は、「議案第81号 平成30年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）」ほか1件であります。当委員会は、11月28日及び12月6日の2日間にわたり委員会を開催し、慎重審査いたしました結果、議案2件についてはいずれも原案のとおり可決すべきと決しました。

以下、審査の概要について御報告申し上げます。

まず、「議案第81号 平成30年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）」であります。新庁舎建設にあたっての基本設計策定等の業務、県知事及び県議会議員選挙、幼稚園の空調整備等のため所要の補正を行うものでした。

まず、新庁舎建設基本設計業務を発注するまでの流れについて質疑があり、鳴門市新庁舎建設基本計画（素案）の字句の整理等を行ったものについて、パブリックコメントを実施し、いただいた意見等を、鳴門市新庁舎建設基本計画検討委員会で議論をいただいたのち、鳴門市が鳴門市新庁舎建設基本計画を決定する。

そして、決定された、鳴門市新庁舎建設基本計画をもとに、新庁舎建設基本設計業務の選定を行うとの説明がありました。

鳴門市新庁舎建設基本計画を決定した段階で市議会へ報告して欲しいとの意見がありました。

また、新庁舎建設に係る地質調査業務に関して、市民会館の周辺でボーリング調査を行うだけでなく、新庁舎を建設する場所の真下でも実施しなければ杭が支持層まで届かない可能性を予見することが出来ないのではとの質疑があり、ボーリング調査については、ある程度の間隔で行うものであり、調査から得たデータにより、類推することができる。また、基本設計を行うために必要な調査であるとの説明を受けました。

市民会館を取り壊した後に、新庁舎を建設する場所の真下でボーリング調査を実施して欲しいとの意見がありました。

また、想定している平米あたりの単価を45万円としているが他団体と比較して高額ではないのかとの質疑があり、近年、免震構造で庁舎を建設した自治体の平均をもとに算定したとの説明を受けました。

さらに、新庁舎建設基本設計業務について5千5百万円を計上しているが、鳴門市新庁舎建設基本計画（素案）の内容が見直された場合には、金額も変更されるのではとの質疑があり、契約金額が変わってくる可能性はあるとの説明がありました。

また、建設時期について、2025（にせんにじゅうご）日本万国博覧会の開催が決まり、資材等の高騰が予想されるなか、平成32年度中の着工を目指す理由について質疑があり、南海トラフ巨大地震の発生確率が高まるなか、市民アンケートでは防災拠点の整備を望む声もあり早期の着工が必要と考えているとの説明を受けました。

さらに、鳴門市の新庁舎建設に関して、重要なポイントは建設場所と考えており、素案の段階で、基本設計業務に関する予算を計上するのではなく、鳴門市新庁舎建設基本計画を決定した段階で予算計上してもよいのではないのかとの質疑があり、市町村役場機能緊急保全事業の関係などもあり、平成32年度中に着工し平成34年度中に完成させるためには、切れ目なく事業を推進する必要がある、今回の補正予算を認めていただきたいと考えている。また、新庁舎の建設場所については、市民アンケートや鳴門市新庁舎建設基本計画検討委員会において現在の場所での建設を望む声が多かったと理解しているとの説明を受けました。

また、2m程度の、土地のかさ上げ、も検討しているとのことであるがその根拠について質疑があり、現庁舎における津波の基準水位は2.1mとされていることによるものであるとの説明を受けました。

委員会では採決の結果、賛成多数で原案を了といたしました。

次に、「議案第82号 平成30年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第2号）」であります。舟券売上金の増額による収益的収入及び支出の予定額の増加に伴う補正を行うとともに、エディウィン鳴門増築改修及びイベントホールの建築に伴う設計費用等について所要の補正をするものでした。

エディウィン鳴門の増築に伴い、どの程度の駐車スペースが、減るのかとの質疑があり、35台程度であるとの説明を受けました。

混雑時に駐車スペースが減ったことにより、事故が起こらないよう配慮して欲しいとの意見がありました。

また、エディウィン鳴門を増築することによりどの程度、指定席が増えるのかとの質疑があり、席数は60～80程度であり、加えて個室を3室から4室程度考えているとの説明を受けました。

また、イベントホールの基本計画・基本設計について、どの程度、ユニバーサルデザインを意識しているのかとの質疑があり、100パーセント合致したものにするのは難しいが、可能な限り配慮したいとの説明を受けました。

さらに、コンパクトな本場は、ボートレース鳴門の大きな特徴であり、後から建物を継ぎ足すようになればデザイン的なよさが失われることが懸念されるため、そのことも十分考慮して基本計画・基本設計を行って欲しいとの意見がありました。

また、イベントホールの建築費用及び用途について質疑があり、工事費用は2億5千万円程度であり、大きなレースがあった場合のイベント会場としての活用のほかに500人程度は収容できる施設となることから、なるちゃんホールではできない行事等を実施することが出来ればと考えているとの説明を受けました。

中途半端な施設とならないよう、しっかり検討するとともに、本場にもっと多くの方が来場するよう努めて欲しいとの意見がありました。

委員会では採決の結果、全会一致で原案を了といたしました。

以上が当委員会の審査概要であります。よろしく御賛同賜りますようお願い申し上げます。